

交換留学定期レポート（9月）

L213016 金崎琴乃

私は2024年9月から12月半ばまでの約3ヶ月半カナダ・オンタリオ州ノースベイにあるニピッシング大学に交換留学に来ています。申し込みの時点では半年以上の予定でしたが、2024年1月にカナダ政府が発表した留学生受け入れ制限により、1学期間のみ留学となりました。語学留学など外部のエージェントを利用してより長く留学することも考えましたが、2年生のときから島大の交換留学でカナダに来たいと思っていたので、この選択をしました。

8月22日23日に留学生向けのオリエンテーションが予定されていたため、日本時間8月20日の昼に日本を出て、カナダ時間8月21日の夕方に大学に到着しました。福岡（アジアナ）→ソウル（アジアナ）→ロサンゼルス（デルタ）→アトランタ（デルタ）→トロントと3回乗り換えをして、トロントからノースベイまで約5時間の高速バス（Ontario Northland Bus）で来ました。トロントからノースベイまでの飛行機は朝の1便のみで間に合わなかったため今回はバスを取りましたが、先にトロントからノースベイまでの飛行機の時間を確認しておくべきだったと思いました。福岡からトロントまでの乗り継ぎ時間はそれぞれ3～5時間程度で、入国審査や荷物再受託などをしていたら軽食を食べてちょうど良いくらいの乗り継ぎ時間でした。ソウルでは必要ありませんでしたが、アメリカでは乗り継ぎだけでも入国扱いになるためESTAの申請が必要でした。カナダは半年未満なのでビザは免除され、代わりにeTAをオンラインで申請しました。アメリカの入国審査は乗り継ぎが目的だったのでスムーズに進みました。カナダの入国審査はかなり緩めで流れ作業のようでしたが、私は色々聞かれることがあり、何を勉強するか、滞在先はどこか、税関に引かかるものは持っていないか、トロントからノースベイまでのバスチケットは持っているかなど聞かれました。事前に調べた際にeTAの人は帰りの航空券もしくは十分な費用を証明する必要があるとあったため、口座残高などを準備していましたが今回は必要ありませんでした。今回の渡航でアジアナ航空とデルタ航空を使いました。ソウルの仁川空港で何が原因だったかわかりませんがチェックインする際にかなり時間がかかって、さらに荷物をなぜかアトランタまでスルーバゲージにしてくれていたため、ロサンゼルスでチェックインだけしてアトランタで荷物だけ再度預け直しになりました。早朝5時だったのですが、5時半からヘルプデスクが開いていたため、事情を説明して色々助けてもらいました。ロストバゲージを危惧していたので、トロントで荷物を全部受け取れたときはほっとしましたが、初めて使うキャリーケースがすでに破損していました。そんなこんなで30時間以上の長旅を終えて大学に着いた頃には疲労困憊でした。

ニピッシング大学はカナドール大学というカレッジと併設しているのですが、Google Mapが示すニピッシング大学の位置が山の中だったので混乱しました。大荷物を持って大学に到着して、場所が違うと思ったときには絶望しかけましたが間違えていなかったためほっとしました。寮は3種類あって私はChancellors Houseという寮を選びました。正直違いがわからなくてどこでも良いと思っていたのですが、私の寮は大学の坂の下にあ

って歩くと 25 分くらいかかります。バスが出ているので、基本的には困りませんが、バスパスを受け取っていないときに 1 度歩いてみたらハイキングコースで流石に疲れました。寮はどこも 4 人部屋で、留学生のみでなく在學生と混合です。キッチン、ラウンジ、ダイニングは共用、バスルームは各部屋 2 つあります。個人部屋がそれぞれ用意されているため、1 人の時間を確保できる分には問題ないかと思います。ただ、思っていたよりもものがなく、キッチンには冷蔵庫、ガスコンロ、オーブンだけがあります。電子レンジ、鍋、フライパン等の調理器具は 1 からすべてそろえる必要があるのですが、これもルームメイトたちを話し合っ買って買わないといけないので、最初に入寮した私にとっては退屈でした（他の寮生の入寮日にルームメイト達がほとんど必要なものを各自で持ってきてくれて、使わせてもらえることになりました）。最初の週はバックご飯でしのごうと思って、カレーやふりかけを持ってきたのですがそれさえ食べられず、とりあえず鍋とフライパン両方に使えるものを 2 日目に買いに行きました。マーケットやその他の雑貨店などは大学から少し離れたダウンタウンに密集していて、スタバやマック、サブウェイなどもほとんどその辺にあります。歩くと 30 分～1 時間程度かかりますが、こちらもバスが出ているのでバスパスを使っていなくても買い物に行けます（バスは市内の路線であればどこでも \$3 で、最初に大学に支払う諸費にバス代がおそらく含まれているためかなりお得で便利）。ただ、コンビニもダウンタウンの方にしかなくてお散歩程度にアイスを買に行くことができないのが個人的には残念です。

8 月 22 日 23 日のオリエンテーションでは、留学生が 20 人～30 人程度参加していました。留学生のうち、交換留学（短期）で来ているのは 6 人だけで、多くの留学生は修士号や博士号を取得するために入学しているようです。国籍はアジアが多く、約半数はインドの学生でした。オリエンテーションでは留学生支援センターと留学生サポートの学生団体が主体となって企画・運営をしてくれて、学業面・生活面の



サポート体制の紹介から学内ツアーまで幅広く説明を受けました。2 日間とも朝 9 時から夕方 4 時半までオリエンテーションが行われて、少しきつかったですが、その間ほかの留学生の話の聞いたり、ブレイクタイムでコミュニケーションを取ったりすることができたのでとても良い機会でした。また、2 日目の夕方に学生団体がボーリングに連れて行ってくれました。2 日間のオリエンテーションを通して、各方面でのサポート体制が手厚く、様々な活動を学生が主体となって行っているため、学生たちが大学を創っている雰囲気を強く感じました。24 日に新入生を含む寮生たちの入寮日で、寮は賑わっていました。25 日 26 日には各寮の学生団体がイベントを開催してくれて、フロア対抗の屋外ゲームや BBQ が行われました。また、27 日からの 1 週間は OWLS (Orientation Welcome Learning Social) week

が開催され、全ての新生を対象に今年は12チームに分かれて様々なイベントが行われました。バスで市内にあるミッションをクリアしていく大規模なゲームや、スポーツ大会、映画上映など毎日様々なイベントが行われます。大規模なイベントに参加するのが得意ではない上に、ネイティブたちのノリについて行くのが大変だと感じましたが、イベント自体はとても楽しかったです。



カナダに来て10日ほど経ちますが、ノースベイでの生活に馴染むのはそれほど難しくないと感じています（トロントやバンクーバーだともっと物価が高いかもしれませんが）。今のところ治安の悪さは感じず、バスを使えばどこでもある程度のものは買いに行けるのでさほど不便ではありません。自転車や電動スクーターを使えばもっと良いとも思いますが4ヶ月弱なので歩きとバスで何とかしようと思います。今週イベントに参加してみて私が感じたこととしては、自分の言いたいとは伝わるけど、他の人の話すスピードがかなり速くて聞き取れないことが非常に多いと感じました。そのせいであまり会話に入れず、なんと返して良いかわからないことが多々ありました。たった3ヶ月半しかない留学期間なので、コミュニケーションを取れるように積極的に話しに行ったり、活動に参加したりして有意義な留学にしたいと改めて強く思いました。

